

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（令和５年度採択）

中間評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評 価
2023-1	デジタルツインによる冬期道路交通マネジメントシステムの技術開発	北海道大学 准教授 高橋 翔	A
<研究の概要> 冬期道路環境をエッジコンピュータにより低通信量かつリアルタイムに収集しつつ、AI を活用してデジタルツインを構築し、道路交通マネジメントに反映することにより、冬期の人やモノの移動にかかる負担軽減、効率化を実現する。 <中間評価結果> ・各テーマとも研究は順調に進捗しており、現行のとおり推進することが妥当であると評価する。 ・各研究成果の連携・統合、全体システムの構築などの全体としての到達点と道路政策への反映の方向を明確にしながら研究を推進し、とりまとめることを願いたい。 <参考意見> ・研究の全体像、全体としての到達点と道路政策への反映の方向性を明確にするとともに、そのために個別研究に求められる要求水準、個別研究間の関係性を明確にして研究を推進し、とりまとめをされたい。 ・カメラ画像解析や各種データを利用したシミュレーションなどの情報解像度による分析の感度、バス運行時間外のデータがない時間帯の道路状況の予測方法、予測・推定結果についての情報提供方法についての知見がとりまとめられることを期待する。 ・研究対象とした地域以外の地域への展開を念頭に、当該マネジメント手法の導入、構築にあたってのポイント、留意事項がとりまとめられるとよい。			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第 53 回新道路技術会議において審議したものである。